

平成 29 年度

健康科学部・看護学部
公募推薦入試

平成 28 年 11 月 12 日

平成 29 年度健康科学大学入学試験
小論文試験問題（公募推薦）

この文章を読み、あとの設問に答えよ。

これは発展途上国すべてについて言えることですが、社会的チャンスを生み出すための公共政策の推進はきわめて重要です。なぜなら、社会的チャンスが均等に分配されることができれば、多くの人々が経済拡大のプロセスに直接参加することが可能になるからです。

日本の成功の経験と、それに続く東アジア、東南アジアの成功によって、いくつかの政策サークル、特に欧米の政策サークルなどでずっと支配的でありつづけた見解で、しばしば①議論の余地がないとされてきた通念が覆されました。その理念とは、人間的発展というものは、その国が豊かになってはじめて手にすることができる贅品であるとする考え方です。東アジア経済が近年になって獲得した成功モデル——そのはるか以前に日本ではすでに始まっていました——が与えた最大の衝撃はおそらく、そのようなどうしようもない偏見を^ア完膚なきまでに打ち破ったことでしょう。

これらの経済は比較的初期において教育の普及を徹底するなど、さまざまなエンタイトルメントを拡大させるための政策によって、多くの人々が経済活動と社会変革に参加することを可能にしたのです。このことは、社会全体が②貧困の束縛から解放される以前にもうすでに生じていました。そしてまた、この幅広い取り組みは実際に、貧困による束縛に打ち克つものにも大きく貢献したわけです。

ここで、日本の場合を考えてみましょう。19世紀半ばの明治維新当時のことです。ヨーロッパが一世紀をかけて経験してきたような近代的な工業化や経済発展は、日本ではまだ^イ緒についたばかりでした。それにもかかわらず、日本人の識字能力の水準はヨーロッパを凌駕していました。明治時代(1868～1911)における日本の発展初期においては、このような人間の潜在能力の発展が主眼とされました。たとえば、1906年から1911年にかけては、日本全国の市町村予算の43%が教育費にあてられていたわけです。

この時期における日本の初等教育の普及はたいへん急速でした。1893年には徴募された兵士の三分之一が識字能力を持たなかったというのに、1906年頃になると、読み書きのできない者はほとんどいなくなっていたという事実、陸軍の^ロ徴兵担当官たちが^エ感銘を受けています。1913年頃の日本は、経済的にはまだ発展途上にありましたが、書籍出版に関してはもうすでに世界一になっていました。出版点数ではイギリスを抜いており、アメリカの二倍以上にも達していたのです。

日本では、非常に早い時期から学校教育の普及と人間的発展を優先させてきましたし、今日においても、そのことに変わりはありません。ただ、ここで心にとめておかなければいけない重要な事実、それが百年以上も昔に遡るということです。それらは、日本が豊かになってからはじめて導入されたものではありません。これに^オ倣って、発展のために何よりも最初になされるべきは、金持ちや地位の高い人々のためにではなく、むしろ貧しい人々のためになるような、人間的発展と学校教育の普及の事実です。これは、近代史全般をつらぬく日本経済の発展戦略を理解すればわかることです。

『貧困の克服—アジア発展の鍵は何か— Amartya Sen 著、大石りら 訳、集英社新書 2002年1月22日発行』より一部改変

問1 下線部ア～オの読みをひらがなで記せ。(配点 20点)

ア 完膚なきまで () なきまで

イ 緒について () について

ウ 徴兵 ()

エ 感銘 ()

オ 倣って () って

問2 下線部①の対極にある日本で行われてきた事柄を本文中より30字以内で抜き書きしなさい。
(配点 20点)

問3 下線部②を実現するために現代の日本で必要とされることは何か。あなたの考えを600字以内で説明せよ。(配点 60点)

平成 29 年度健康科学大学入学試験問題
解答解説（公募推薦）

問 1 下線部ア～オの読みをひらがなで記せ。20 点

- ア 完膚なきまで (かんぷ) なきまで
 イ 緒について (ちよ) について (しよ) でも可。
 ウ 徴兵 (ちょうへい)
 エ 感銘 (かんめい)
 オ 倣って (なら) って

問 2 下線部①の対極にある日本で行われてきた事柄を本文中より 30 字以内で抜き書きしなさい。20 点

(15 字×2 行)

貧	し	い	人	々	の	た	め	に	な	る	よ	う	な	、
人	間	的	発	展	と	学	校	教	育	の	普	及		

「貧しい～な発展」の場合は 15 点。

問 3 下線部②を実現するために現代の日本で必要とされることは何か。あなたの考えを 600 字以内で説明せよ。60 点

- ・文字数 10 点： 500 字～600 字 10 点、 499～300 字 5 点、 299～100 字 3 点
99 字以下 0 点

- ・正しい語句の使用 10 点：

誤字・脱字 1 個につき 1 点減点（同じ文字については 1 回のみ減点） 最高 10 点まで減点できる

- ・文章の構成・表現力 20 点：

段落分け、起承転結、句読点などが正しく使われているか、ひらがなばかりの文章になっていないか、に着目。

- ・論旨の展開：20 点

一貫性、独創性、経験、一般論（知識）の 4 つの観点から評価

文章中の「人間的な発展・学校教育の普及」をそのまま書き写すような文章は減点。ただし、具体的な提案や社会政策などが記載されていれば問題なし。